



向野

自然と人情が息づくふるさと

つなげよう！

向野の未来を子どもたちに

平成30年度～36年度 向野地区地域計画

向野地区住民自治協議会

目次

会長挨拶・・・p2

7年後は□歳(考えてみよう)・・・p3

このままいくと・・・将来の向野・・・p4

みんなが考える向野の未来・・・p5

地域づくりの基本方針(向野宣言)・・・p6

向野地区住民自治協議会とは・・・p7～8

向野地区住民自治協議会の部会紹介・・・p9～16

地域づくり部会・・・p9～10

福祉部会・・・p11～12

文化教養部会・・・p13～14

体育部会・・・p15～16

向野地区住民自治協議会の課題・・・p17

最後に・・・p18

みらいプロジェクト会議名簿・・・p19

大分大学メンバー・・・p20

関係資料・・・p21～24

計画書ができるまで・・・p21～22

向野地区のデータ・・・p23

向野地区住民自治協議会組織図・・・p24

この地域計画書は**向野地区住民自治協議会**が
今後7年間で地域づくりに取り組んでいくための指針であり
向野みらいプロジェクト会議が主体となって作成しました。

みらいプロジェクトとは、新たな活動の拠点となるコミュニティーセンターを視野に入れた地域計画策定のために結成されたチームです。

＜地域計画書とは＞

地域計画書とは、地区住民へのアンケート結果を基に、今後向野地区住民自治協議会が地域づくりのために取り組む計画の指針となるものです。

今回の計画書では、平成30年度から平成36年度までの7年間を計画の対象期間としています。

向野地区住民自治協議会 会長挨拶



平素より向野地区自治協議会の運営にご協力頂きまして誠にありがとうございます。多くの人達のご協力とご理解で向野地区及び向野みらいプロジェクト会議チームの願いであった向野ふるさと館(コミュニティーセンター)が出来、今後は将来を見据えた計画を立て、皆さんに喜んで頂ける活動を地域一体となり協力して行っていきたいと思います。

向野地区住民自治協議会 会長 豊田 泰彦

向野みらいプロジェクト会議 会長挨拶

このままでは向野地区が無くなってしまう！そんな危機感から、将来の地域計画書を作りました。杵築で一番小さな地区ですがお年寄りから子どもまで、皆で協力し合って明るい向野を作しましょう。

なお、協力戴いた大分大学山浦ゼミ生には、心よりお礼を申し上げます。

向野みらいプロジェクト会議 会長 糸永 省三



7年後は□歳

※□の中に自分の年齢を入れてみよう



みらいちゃん

地域に幼稚園・小学校がない。地区で遊べる場所がない。

将来、向野に雇用のあるの？若者が帰って来られない…。



つわどくん

若者が帰って来ない。農業をしている人は後継者問題に直面している。



向野さん

車の運転が出来なくなったときに買い物・病院に自由に行けない。



おもとさん

自分が7年後何歳になり、そのころは何をしているでしょうか？

歳を重ねていくにつれて、今できていることもこのまま続けていけるとは限りません。それは、個人の問題でもありますが、地域全体の問題としてもとらえることができます。

例えば、跡継ぎがいなくて困っている「おもとさん」個人の問題は、耕作放棄地や荒れ地が増えてしまう問題や、それによって向野の美しい景観が壊れてしまうという地域の問題につながります。

一人では解決できないため地域全体での問題としてとらえて向野地区全員で解決に向けて取り組みましょう！

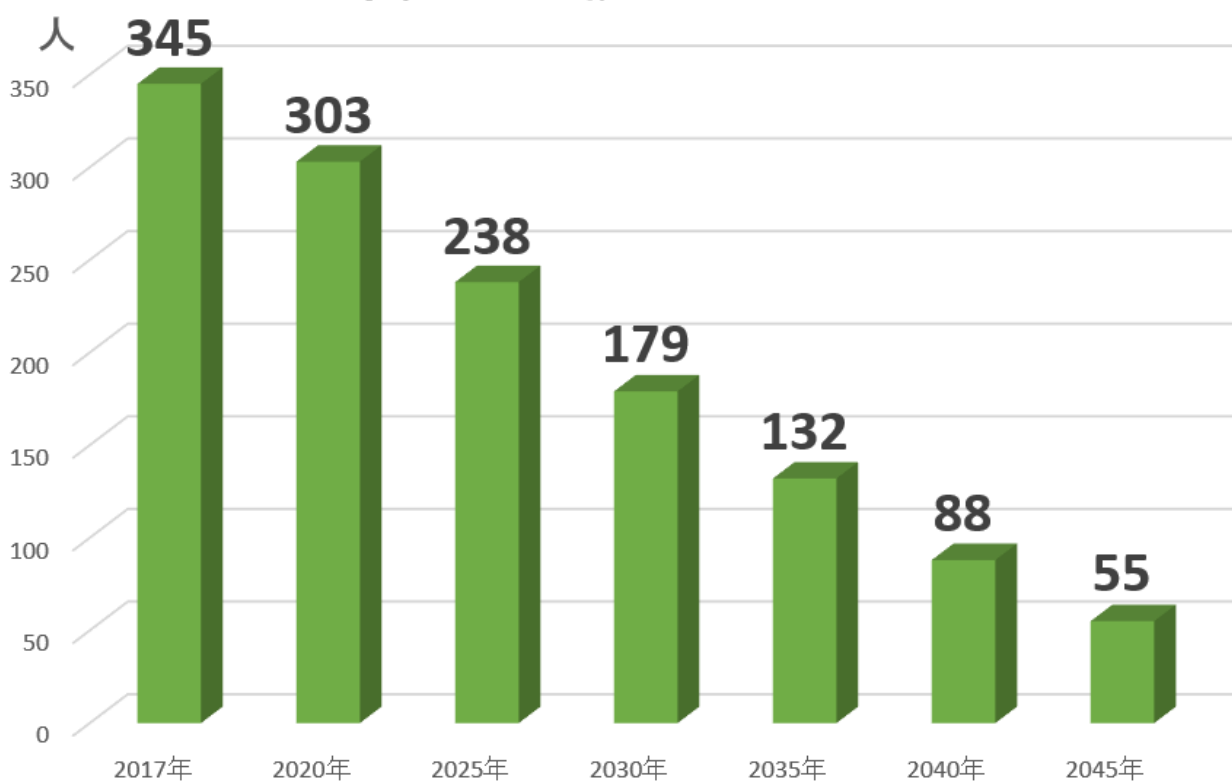
このままいくと・・・

これから
どうなるのかしら



将来の向野

向野地区人口推計予想図



図からもわかるように、28年後の2045年には
向野地区の人口が55人になると予想されています。
**しかし、後のページにもある取り組みを実行することで
変わる可能性もあります！**

向野出身の人たちのリターンや移住者が毎年一人ずつ増えることによって、
28年後の55人が増えるかもしれません。

みんなが考える向野の未来

先日は、向野地区地域計画策定のためのアンケート調査のご協力ありがとうございました。これらの言葉は、「向野地区はどんなイメージの地域になったらよいと思うか(『向野地区地域計画策定のためのアンケート調査報告書』p19～21)」より、地域のみなさんの答えの中にあった言葉たちです。大きく書かれているものであればあるほど、答えが多かった言葉を表しています。右下はその言葉の票数です。

住みよい

15票

明るい

8票

包容力

4票

健康

4票

理想郷

3票

仲良く

7票

元気に

5票

賑やか

2票

活気

13票

結束力

10票

自然豊か

6票

女性や若い人も意見を言いやすい

2票

(考察)

上に挙げたように住民の皆さんは向野地区について、自然豊かで皆が元気よく、団結力があるという良い印象を持っているようです。移住者の人を受け入れたいという思いも多く、向野地区全体がひとつとなってよりよい地域づくりをしていきたいという意見が多く見られました。

地域づくりの基本方針(向野宣言)



みんなで
助け合える
「向野」

次の世代に
つなげる
「向野」

「向野」宣言

学び合い
伝えていく
「向野」

いきいき
暮らせる
「向野」

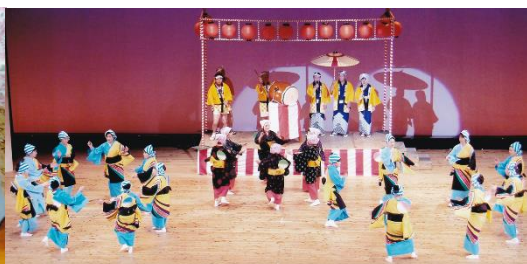
向野地区がどのような地域であればよいか
アンケートの結果を基に4つの「向野宣言」を設定しました。

この4つの向野を実現するために向野地区住民自治協議会を筆頭に、
向野に住むみなさんで力を合わせて事業に取り組んでいきましょう。

「事業ちなんな?」と思われる方、心配はご無用です。

すぐに理解はしなくて構いません。

まずは、知ることが重要です。そのために、本書が今みなさんのお手元にあるのです。



向野地区住民自治協議会とは

みんなで
頑張ろう！

住民自治協議会とは、名前の通り住民による自治組織であり
地域全体で認識した地域の抱える課題を解決するために
これからの方向性や取り組む事業を考え住民全員で活動を行っていく組織です。
**つまり住みやすい地域を
自ら作り上げる組織なのです。**

自治協の今までの流れ

S54年
向野生活改善
センター開設

S58年
公民館組織誕生

H29年
自治協に名前変更

H30年
新自治協誕生

昭和54年に向野生活改善センターが開設し、住民の拠点となる場所が誕生しました。その後、昭和58年に施設名を向野公民館と改名し、同時に住民の自治組織「向野地区公民館」が誕生しました。公民館組織では、よりよい向野を作っていくために公民館活動を自主的に行ってきました。この公民館組織には目的達成のために活動を円滑に行っていくよう各種事業主体でもある専門部を6つ設置していました。そして、杵築市住民自治協議会連絡協議会の立ち上げに伴い、平成29年度より「向野地区公民館」から組織名を「向野地区住民自治協議会」へ変更しました。

これらのように、向野地区では住民主体の地区運営が一早く積極的に行われてきました。そしてこれから、さらによりよい向野をつくっていくために平成30年度より、新しく生まれ変わった「向野地区住民自治協議会」が誕生します。



今までの自治協 — 自治協は6つの部と各種団体で構成されていました

体育部

主な事業

- ・向野地区運動会
- ・グラウンドゴルフ大会
- ・パークゴルフ大会

生産部

主な事業

- ・向野地区文化祭での
農産物品評会

文化教養部

主な事業

- ・戦没者、初盆家合同慰霊祭
- ・盆踊り大会
- ・自治協と老人の集い
- ・向野地区文化祭
- ・向野地区新年互礼会

生活環境部

主な事業

- ・公民館、地区グラウンドの
草刈り

女性部

主な事業

- ・各行事での接待
- ・各行事での調理等

健全育成部

主な事業

- ・グラウンドゴルフ大会
- ・盆踊り大会
- ・太鼓の練習
- ・子ども火の用心呼びかけ

各種団体

- ・民生委員 ・老人会 ・カラオケ愛好会 ・民踊会 ・消防団 ・交通安全 ・津波戸山を守る会
- ・小中学校児童保護者会 ・盆踊り保存会 ・新舞踊 ・太極拳愛好会 ・向野地区自主防災会



これからは、部が6つから4つの部会になります

分散していた組織を集約化することで、限られた構成員の中でも
事業を効率的に進行していくことができます。

これからの自治協 — 自治協は4つの部会で構成されています

地域づくり部会

- ・消防団
- ・交通安全
- ・向野地区自主防災会
- ・津波戸山を守る会
- ・防犯パトロール隊

福祉部会

- ・福祉委員
- ・民生委員
- ・健康づくり推進委員
- ・老人クラブ
- ・小中学校児童保護者会
- ・サロン

文化教養部会

- ・民踊会
- ・盆踊り保存会
- ・新舞踊
- ・カラオケ愛好会
- ・太極拳愛好会

体育部会

- ・グラウンドゴルフ愛好会
- ・体育協会
- ・野球部

住民みんなが自治協議会の一員なんです。組織図で確認してみよう！

向野地区住民自治協議会組織図はP24へ

地域づくり部会 ～次の世代につなげる「向野」の創造～

空き家もったいないけん
よそんしを受け入れて、
交流を深めていけんかのぉ？

昔はお店があって
便利やったけどなぁ...

火災や地震、大雨
などの防災対策が不安やな...



次の世代につなげる「向野」の創造がテーマです。

地域づくり部会では、主に下記の3点などを協議していきよりよい向野を目指します。

- ・生活環境の保持と改善向上に関すること
- ・地域の振興啓発に関すること
- ・防災、防火、防犯に関すること

今まで以上に向野の環境、防災面が整備されることで、
10年後、20年後に向野で暮らす人達が安心して生活できます。

主な事業内容

これからも継続していきます



Now

地区文化祭



12月の第一日曜日に毎年開催。
農産物の品評会や芸能発表会を行っています。

防災活動



5月の避難訓練や、防災士資格保持者によって消火活動訓練、簡易担架作り等を住民に指導しています。

コミュニティーセンター管理



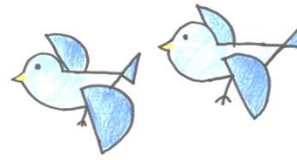
2018年4月に
コミュニティー
センターが開設さ
れます。
そのコミュニティー
センターの管理
をしていきます。

新年互例会



新年のあいさつ行
事であり、来賓を
招き、懇親会を開
いて地域の交流・
親睦を深めていま
す。

これからこんなこともやっていきます



New

短期事業(来年度～再来年に着手するもの)

資源ごみ回収事業

コミュニティーセンターを拠点に、はじめはアルミ缶や古紙の回収を行っています。
回収による収益は自治協議会の運営資金やサロン等の活動費補填として活用していく予定です。

移住者対策事業

空き家の有効活用のために空き家の調査や、市役所の空き家バンク制度の活用等を行っていき、外から移住者を受け入れることができる体制を整えていくことを目指します。

物品販売事業

コミュニティーセンター内に売店スペースを設け、まずは住民アンケートを実施し、日用品を中心に販売事業を行っていくことを目指します。
また、将来的には、地区内で作られた生産物等の販売や、立ち寄り客向けへの販売も行えたらと考えています。

広報活動



自治協議会への理解を深めてもらうために、広報紙による取り組み紹介や、防災ラジオによる地区内への情報提供を行っていきます。
また、自治協議会のホームページを作成し、外部への広報活動も行っていきたいと考えています。

←広報紙「津波戸の風」

行政事務受託

現在、市役所の行っている証明書発行やメーター検針の事業を代行で行っていきたいと考えております。
実施のためには、市役所との協議が必要であり、今後事業実現へ向けて取り組んでいきます。



中長期事業(3年～7年以内に着手するもの)

防災活動拠点の整備

避難場所となる体育館の改修整備が必要であり、今後の検討を行っていきます。また、地区ごとに、自ら避難できる人、避難できない人といった住民の状態把握や避難経路の確保、さらに緊急時の食料準備体制を、コミュニティーセンターを中心として整備していきたいです。また、老朽化した消防機庫をコミュニティーセンターの横に移設し、消防団活動の充実を図ります。

特産品の開発、販売

現在進行中の東京農業大学との連携等といった外部からの知恵を借りながら進めていきます。
向野地区の特産品としては、米やシイタケ、ナス、栗などが考えられます。また、遊休地を利用した作物の作付も考えられます。



福祉部会 ～みんなで助け合える「向野」の創造～

高齢者一人暮らしは何かと心配やけんなあ？

タクシーは高えけん手軽に使えんなあ

コミュニティーセンターがみんな気軽に集まれる集いの場所にならんのかのう



みんなで助け合える「向野」の創造がテーマです。

福祉部会では、主に下記の3点などを協議していきよりよい向野を目指します。

- ・地域住民の健康と福祉の増進に関すること
- ・青少年の健全育成に関すること
- ・地域住民の交流・親睦を図るための活動に関すること

子どもから高齢者まで地域の一人ひとりが互いに気にかかけ合い、交流を深めることで困った時は気軽に頼れて助け合える地区を作しましょう。

主な事業内容

これからも継続していきます



Now

自治協と老人の集い

毎年9月の敬老の日に開催しています。
地区の高齢者を招き、踊りやカラオケ、会食を実施しています。



健全育成に関する事業

過去には、地区内の見回り活動、夏休みの親子レクリエーション、駅伝大会を行っていましたが、向野小学校の閉校や小中学生の減少により事業を中止してしまいました。
現在は、年末に火の用心の声かけ運動や、大人と子どもが一緒にパークゴルフやグランドゴルフを行ったり、盆踊りでの太鼓の指導を行ったりしています。



戦没者・初盆家合同慰霊



毎年8月16日の午後に浄土寺本堂にて開催しています。
昔は青年団で運営をしていましたが、現在では自治協にて運営をしています。

これからはこんなこともやっていきます



New

短期事業(来年度～再来年に着手するもの)

サロン

会食サービス

まずは、高齢者をメインターゲットにして、サロン開催時にみんなで一緒に楽しく食事をする機会を試験的に実施していきます。
将来的には、定期的に会食の機会を設けられるよう目指します。

送迎サービスの実施

送迎サービス利用者の調査・把握をしていき、その方たちを対象に送迎サービスを行いたいと考えています。

送迎サービスを実施することにより、今まで交通手段がなく、地域行事に参加できなかった方々が気軽に地域行事に参加できるようになれば良いと考えています。



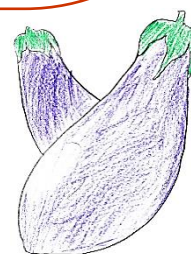
これまで行っていた、健康体操などに加え、麻雀や男の料理教室などコミュニティセンターでできる新たな取り組みを増やしていき、地域の人々の交流の場を設けていけたらと考えています。



早期の実現は困難であるが、今後展開としてありうるもの

配食サービスの実施

現状では実施するにはハードルが高く計画期間内の実施は難しいかもしれませんが、一人暮らしの高齢者を対象に配食をしていくことを目指します。それと同時に交流を深めながら高齢者の安全や体調を確認し気にかけていきたいと考えています。



文化教養部会 ～学び合い伝えていく「向野」の創造～

外部から講師を招いて
新しい考え方を持てるような
話を聞いてみてえなあ～

世代間格差を解消して若者にも
地域を担ってもらいてえなあ

地域内で交流をしてみんなで話し
合える仲になりてえなあ



学び合い伝えていく「向野」の創造がテーマです。

文化教養部会では、主に下記の2点などを協議していきよりよい向野を目指します。

- ・地域住民の教養を高めるための生涯学習教室の実施
- ・地区住民の交流・親睦を図るための活動に関すること

伝統ある文化を守り、受け継いでいくと同時に
新しいことについても日々学び、前へ進んでいく風を生みます。

主な事業内容

これからも継続していきます



Now

供養盆踊り



毎年8月16日に行っている戦没者・初盆家合同慰霊祭の後に地域住民がそろい、盆踊りを行っています。

また、盆踊りの拍子をとる太鼓では、難易度の高いものは大人が行っていますが、二つ拍子など簡単なものは地区の子どもが担当しており、伝統文化の継承も行われています。

これからこんなこともやっていきます



New

短期事業(来年度～再来年に着手するもの)

生涯学習教室の実施



地域内外から講師を呼び、教室を開催します。サロンのように住民が自主的に集まるのではなく、講師の先生に教えてもらい学んでいくという点が生涯学習教室の特徴です。料理、健康体操、英会話、習字、パソコン教室などを実施していきたいと考えています。

地域伝統文化の継承



現在ある伝統文化の保存組織を見直していく方法として、年間を通して練習の時間を設けることや生涯学習の一環として教え伝えること、映像資料に残すことなどといった案が挙がっています。

これらの案を検討しながら今後の事業展開へとつなげていきます。

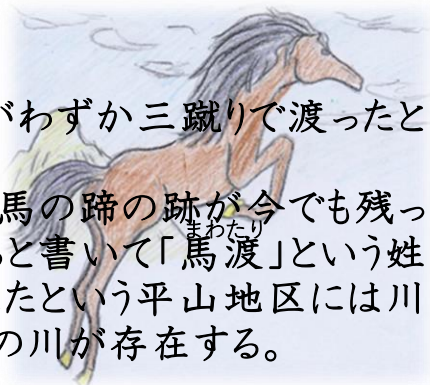
また盆踊りについては向野の盆踊りは山香のほかの地域とは異なるので、向野地区内で継承していかないといけないという課題もあります。

コラム:向野に伝わる伝説①

馬渡伝説

その昔、御許山から津波戸山へと神馬がわずか三蹴りで渡ったという伝説がある。

御許山、津波戸山には渡ったとされるその馬の蹄の跡が今でも残っており、現在JR西屋敷駅付近には馬が渡ると書いて「馬渡」という姓や地名も残っている。また、馬が一度着地したという平山地区には川の中の岩に馬の蹄の跡が残っている馬洗いの川が存在する。



体育部会 ～いきいき暮らせる「向野」の創造～

体力保持のために運動を
推進してほしいなあ～

スポーツで住民間交流っ
できんのかのう？

体育館をもっと手軽に
利用できたりせんのかえ？



いきいき暮らせる「向野」の創造がテーマです。

体育部会では、主に下記の2点などを協議していきよりよい向野を目指します。

- ・地域住民の教養を高めるための生涯スポーツ教室の実施
- ・地区住民の交流・親睦を図るための活動に関すること

グラウンドゴルフ、運動会、スポーツ教室など簡単な運動をみんなで
取り組むことにより共に元気でいきいきとした暮らしを目指します。

主な事業内容

これからも継続していきます



Now /

グラウンドゴルフ大会



年に2回向野地
区グラウンドに
ふれあいグラウンド
ゴルフ大会を開催
しています。

パークゴルフ大会



年一回、山香にある風の郷パ
ークゴルフ場にて開催していま
す。

地区運動会



年に1度、9月末から
10月上旬頃に開催
しており、軽スポーツや
ゲーム性に富んだ種目
を行っています。



これからこんなこともやっていきます

New

短期事業(来年度～再来年に着手するもの)

生涯スポーツの取り組み



屋外や体育館で行うことのできる、簡単なスポーツから始めていきます。例えば、ウォーキングや登山、バドミントン、ボウリングなど年齢世代性別を問わず誰もが楽しめるスポーツを企画していくことが望ましく、そのような取り組みを行っていきます。



体育館の活用



向野体育館をもっと手軽に地域住民で利用できるようにするために、コミュニティーセンターにて体育館の利用受付など管理を行うことができればよう計画していこうと思います。



コラム:向野に伝わる伝説②

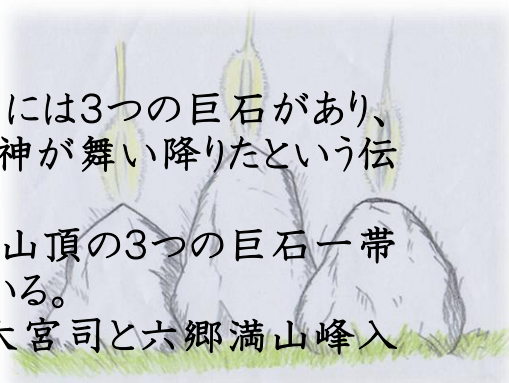
おもとさん

御許山の伝説

向野地区の西側に位置する御許山の頂には3つの巨石があり、日本書紀にはこれを目印として御許山に女神が舞い降りたという伝説が記されている。

古代より御許山自体が信仰の対象であり山頂の3つの巨石一帯は足の踏み入れが許されない場所になっている。

巨石を直接崇拝できるのは宇佐神宮の大宮司と六郷満山峰入り行者だけである。



自治協議会の課題～よりよく活動をするために～

地域計画書に沿って、これから向野地区住民自治協議会が地域づくりの計画を進行していきます。

しかし、その過程で次のような諸問題が起こりうる可能性があります。

そのためには何をしていかなければよいのかリスクに備えた対応が必要となってきます。

また、住民全員が参加して向野地区全体で地域づくりをしていかなければなりません。

こんな心配事が…

- ・女性の意見を積極的に取り入れることができる体制づくり
- ・事業が増加して運営をするのが難しくなる
- ・事業のフィードバック問題
- ・自治協議会、コミュニティーセンターの活動運営資金、経費確保問題
- ・次の活動への課題探し
- ・前例踏襲の流れの定着化(既存からの脱却)
- ・一部のリーダーに負担が集中してしまう地域運営
- ・地域住民への活動の理解と参加をどのようにするのか(自治協、イベント等)
- ・次世代のリーダー(後継者、人材不足)問題

組織的
問題

地域的
問題

そのためには

これらのことをやっていかなければなりません

- ・女性、若者と意見交換をし、積極的に意見が言えて参加しやすい環境をつかっていく。
また、自治協議会の女性や若者の役員を増やす。
- ・アンケートを実施し、事業の見直しを行っていく。
- ・広報誌などを通して地域全体に理解を広め、多くの人に行事に参加してもらう。
- ・事業内容と必要に応じて、自治協議会外部の人や市役所からの助言を乞う。
- ・リーダーに負担は増えてしまう。その負担が本当に適切かどうか毎回検証する。
また、これからは今まで以上に市役所との連携や協力が必要となる。
そのためしっかりと分業し良い向野地区になるよう活動をしていかなければならない。

最後に

向野の問題はみんなの問題

今から約 30 年後の向野の人口は減ると予想されています。

それを食い止めるために、あなたの力が不可欠です！

向野の活動に積極的に参加し、みんなが過ごしやすい

多くの人が訪れる地区にしていきましょう！

【地域づくりのスローガン】

この掛け声をテーマに自治協活動をみんなで取り組んでいきましょう！

つなげよう！

向野の未来を子どもたちに



向野みらいプロジェクト会議名簿

～私たちが中心となってこの計画を作りました～

役職	氏名	地区	メッセージ
会長	系永 省三	影平	今までお世話になった地区に出来るだけ恩返ししたいと思っています。
副会長	豊田 泰彦	日野地	跡地利用の委員会から向野みらいプロジェクト、公民館の建設着工と今考えると長いようで短かった。
事務局	阿部 秀夫	平山	向野魂は健在。向野地区は永久に不滅です。
委員	都甲 高義	薫石	孫を後継者にしたい。地域を若返りさせたい。
〃	都甲 正徳	薫石	向野の未来について改めて考えてみました。 一歩一歩前進するのみ
〃	阿部 弘信	日野地	30年後の向野の人口が55名?... イヤだ。
〃	東原 晴美	日野地	今迄していた公民館活動にプラス、加工品、野菜、ふるさと納税
〃	友岡 政博	松尾	何よりも「住んでよかった」と思える地域になればと思い関わってきました。
〃	松尾 寿子	松尾	ついに計画書が出来上がりました。 新しい施設の完成も楽しみです。
〃	豊田 正博	今原	くらしやすい向野を目指して活動したい。
〃	川野 正太	浄土寺	これからの10年後、20年後を見据えた計画や活動が必要になってくると思う。
〃	宇都宮 秀子	浄土寺	微力ながら明るい向野の未来のために役に立てればと思っています。
〃	裏 安博	八丸	仕事の関係で出席回数が少なく申し訳なく思います。 今後はプロジェクト実行に向けお役に立ちたいです。
〃	宮本 眞理子	八丸	御縁をいただいた向野のみなさんと一期一会の日々を送りたいです。
〃	川野 公子	平山	コミュニティーセンター始動を機に今以上より良い向野になればと思います。
〃	安倍 公彦	平山	“生まれ育った向野を消滅させたくない! 皆で取り組もう自治協活動を“

大分大学メンバー

～私たちもこの計画書づくりに参加しました～

学部・出身	氏名	メッセージ
経済学部准教授 大田区出身(東京)	山浦 陽一	向野の皆さんの夢、未来のつまった素晴らしい計画書 実現のポイントは、ゆっくり、みんなで、楽しく。 7年後が楽しみです。
経済学部3年 熊本市出身(熊本)	山本 貴大	住民一人ひとりが向野の力であり、明るい未来を作る 資源だと思います。これからも応援しています。
経済学部4年 豊後高田市出身	青山 恵祥	計画書が向野地区の未来につながることを期待しま す!
経済学部3年 熊本市出身(熊本)	榎田 優希	向野が今後明るい未来に向かっていく事を願って、応 援しています!!
経済学部3年 豊後高田市出身	谷口 寛治	みんなで向野の未来のために作り上げた計画書。 この想い、受け取ってください。
経済学部3年 松山市出身(愛媛)	成松 直幸	全ては向野のために導かれた物語



山本



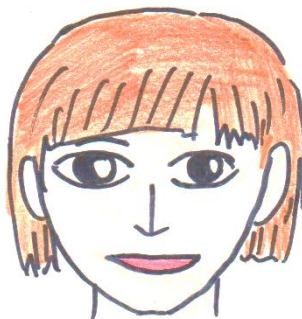
山浦



青山



谷口



榎田



成松

関係資料

◆地域計画書ができるまで

〈策定までの流れ〉

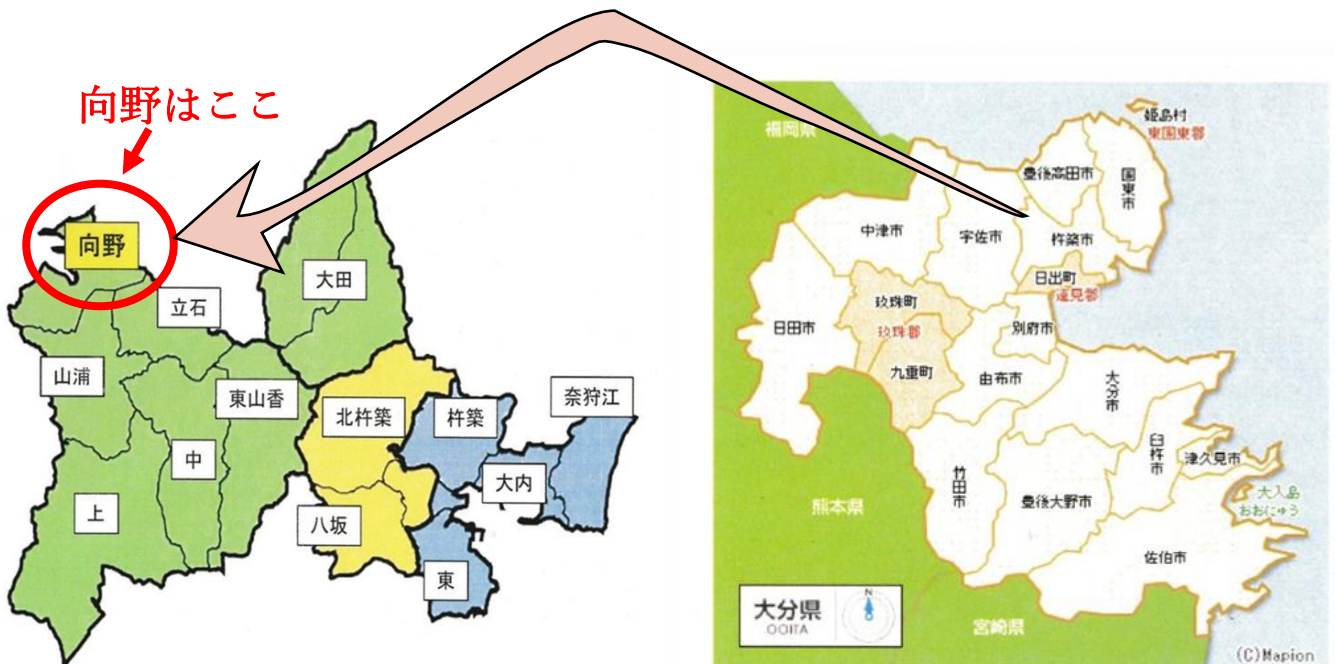
この地域計画書は向野地区公民館役員会において、向野地区の拠点施設整備を視野に入れた地域計画の策定に係る「向野みらいプロジェクト」を発足させ、各地区からメンバーを募りそのプロジェクトチームによって協議を重ね作成しました。また、大分大学経済学部地域システム学科山浦准教授並びにゼミ生も地域計画書策定に参加して取り組みました。

- | | |
|------------|--|
| 平成28年12月 | 向野地区地域計画策定のためのアンケート調査を地区住民に配布 |
| 平成29年1月21日 | 向野地区公民館役員会
地域計画書策定に向けプロジェクトチームの発足決定 |
| 平成29年1月30日 | 第1回プロジェクト会議　メンバー顔合わせ・意見交換 |
| 平成29年2月13日 | 第2回プロジェクト会議
アンケート調査報告と今後の方向性について協議 |
| 平成29年2月25日 | プロジェクト研修視察
地域づくりの先進事例について(宇佐市深見地区・津房地区) |
| 平成29年2月27日 | 第3回プロジェクト会議
向野地区アンケート調査報告書より問題の抽出 |
| 平成29年3月6日 | 第4回プロジェクト会議
大分大学山浦准教授の講演会終了後、課題の洗い出し |
| 平成29年3月9日 | 第5回プロジェクト会議　解決したい課題の整理 |
| 平成29年3月15日 | 第6回プロジェクト会議　課題に対する要望把握 |
| 平成29年3月21日 | 第7回プロジェクト会議　課題解決策の案を検討 |
| 平成29年3月29日 | 第8回プロジェクト会議　最終的に選択した課題解決策を検討 |

- 平成29年4月12日 向野地区公民館役員会
地域課題解決策の取組(プロジェクト)の報告説明・協議
- 平成29年5月16日 第9回プロジェクト会議 コミュニティーセンター初回図面提示・検討
- 平成29年5月22日 第10回プロジェクト会議 コミュニティーセンター補正図面提示・検討
- 平成29年7月8日 第11回プロジェクト会議
コミュニティセンター設計の中間報告・センター名称の選考
- 平成29年7月15日 第12回プロジェクト会議
大分大学生と意見交換(今後のスケジュールの説明)
- 平成29年8月18日 自治協議会研修視察
地域づくりの先進事例について(島根県雲南市)
- 平成29年9月6日 第13回プロジェクト会議 住民自治協議会組織づくりについて協議①
- 平成29年9月13日 第14回プロジェクト会議 住民自治協議会組織づくりについて協議②
- 平成29年9月25日 第15回プロジェクト会議 自治協議会規約について協議
- 平成29年10月3日 第16回プロジェクト会議 事業の取組について協議
- 平成29年10月11日 第17回プロジェクト会議
大分大学生から地域計画書についての中間報告
- 平成29年10月21日 第18回プロジェクト会議
大分大学生から地域計画書についての中間報告(2)
- 平成29年10月27日 第19回プロジェクト会議
コミュニティセンター備品について協議
大分大学生から地域計画書についての中間報告(3)
- 平成29年11月8日 第20回プロジェクト会議
大分大学生から地域計画書についての最終報告
- 平成29年11月15日 向野地区地域計画書完成

◆向野地区のデータ

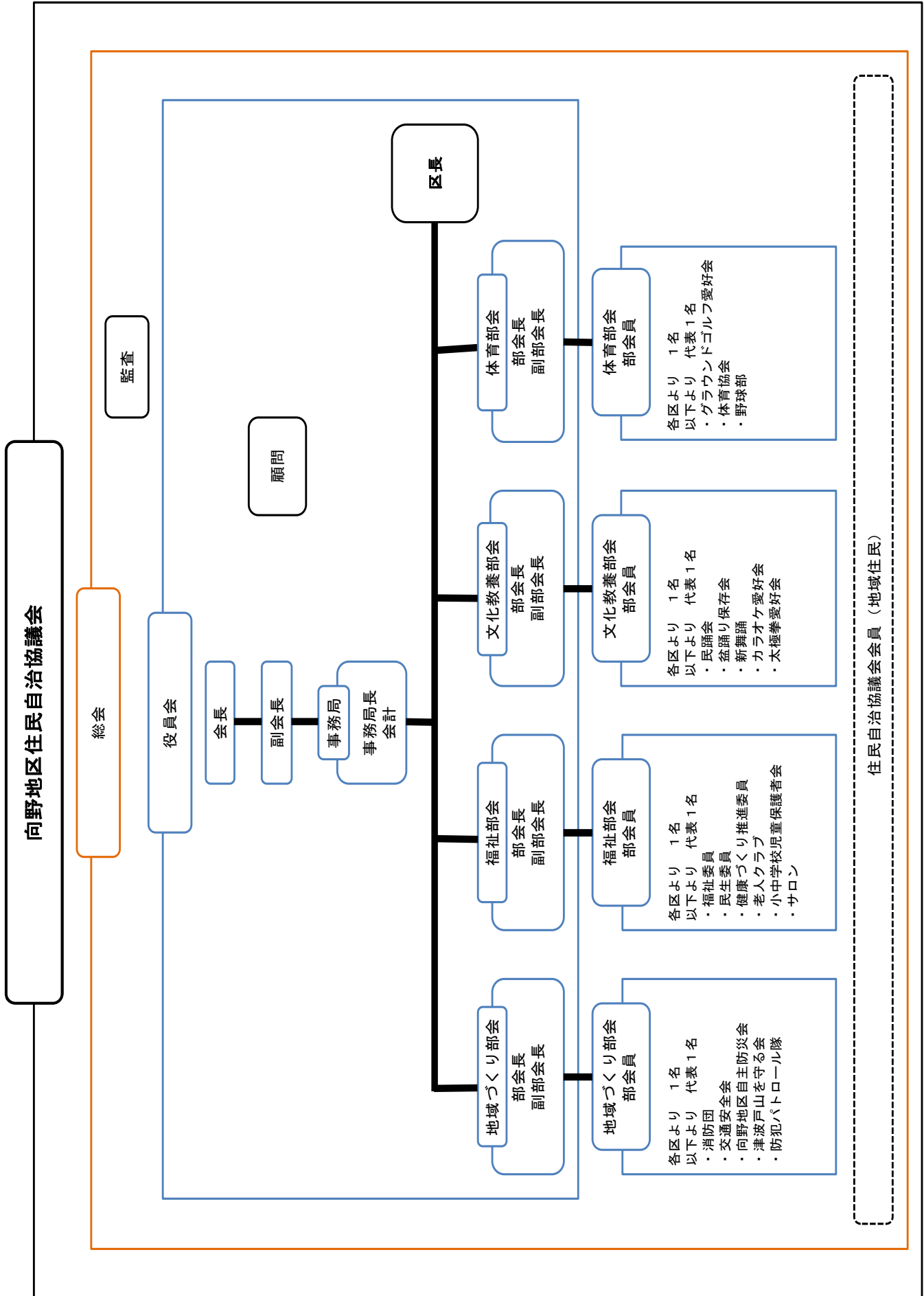
- ① 人口… 3 6 0 人
- ② 世帯数… 1 7 0 世帯
- ③ 高齢者数（65歳以上）… 1 7 3 人
- ④ 高齢化率… 4 8. 1 %
- ⑤ 後期高齢者数（75歳以上）… 1 0 5 人
- ⑥ 後期高齢化率（75歳以上）… 2 9. 2 %
- ⑦ 独居世帯… 4 1 世帯 2 4. 1 %
- ⑧ 高齢者夫婦世帯… 6 7 世帯 3 9. 4 %
- ⑨ 高齢世帯… 6 世帯 4. 1 %
(親と子のいずれも65歳以上)



資料：杵築市市民課より

平成28年3月末時点

◆向野地区住民自治協議会組織図



地域住民のみなさんが自治協議会の一員なのです！みんなで協力してよりよい向野をつくっていきましょう！